



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第38号
平成20年7月16日

河津町議会だより



解禁日のあゆ釣り風景(豊泉橋上流付近)

主な内容

- 平成20年第2回定例会(要旨) 2~3P
- 町長の行政報告 4P
- 一般質問 5~6P
- 視察報告、私も一言 7P
- 議長の主な活動報告、編集後記 8P

平成20年 第2回定例会 (要旨)

6月10日に開かれた第2回定例会は、下記の通り、町長の行政報告について2名の一般質問が行われ、専決案件3件の承認、条例案件3件、町道認定1件、契約案件2件、平成20年度補正予算5件を審議し、原案通り可決承認した。

○町長の行政報告

○一般質問(2名)

議案第44号 専決処分の承認を求めるについて
(河津町税条例の一部を改正する条例について)



議案第45号 専決処分の承認を求めるについて
(河津町都市計画税条例の一部を改正する条例について)

議案第46号 専決処分の承認を求めるについて
(河津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)

議案第47号 伊豆元気わくわくの森公園の設置及び管理に関する条例の制定について
議案第48号 河津町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

議案第49号 河津町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第50号 町道路線の認定について

議案第51号 平成20年度河津町学校給食センター建設工事請負契約について
議案第52号 平成20年度河津町学校給食センター厨房設備工事請負契約について

議案第53号 平成20年度河津町一般会計補正予算(第2号)

議案第54号 平成20年度河津町老人保健特別会計補正予算(第1号)

議案第55号 平成20年度河津町介護保険特別会計補正予算(第1号)

議案第56号 平成20年度河津町水道事業会計補正予算(第1号)

議案第57号 平成20年度河津町温泉事業会計補正予算(第1号)

専決案件

平成20年度の税制改正においては、持続的な経済社会の活性化を実現するためのるべき税制の構築に向け、税体制の抜本的改革が行われるまでの間の暫定処置としての河津町税条例の一部の改正が行われた。また、河津町都市計画税条例の一部を改正する条例について、河津町国民健康保険税

条例の一部を改正する条例についても改正が行われた。

条例の制定・改正

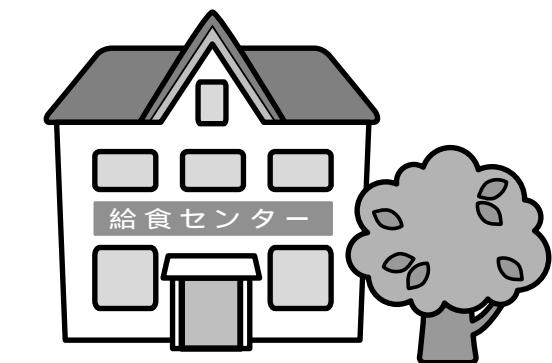
伊豆元気わくわくの森公園の設置及び管理に関する条例が制定され、河津町消防団員等公務災害補償条例の一部及び河津町水道事業の設置等に関する条例の一部が改正された。

町道路線の認定

見高大谷津・虎丸線、延長L = 1,591.45m、見高大谷津1号線、延長L = 152.08m、見高大谷津2号線、延長L = 61.52mを町道に認定した。

工事請負契約

平成20年度河津町学校給食センター建設工事を307,650千円で東海・第一工房・大塩・河津稻葉特定建設工事共同企業体が、厨房設備工事を89,670千円で日本調理機株式会社(東京都)が契約した。



可決した20年度補正予算

●河津町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出に51,662千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ4,077,457千円とする。
これは4月の人事異動により各課の給料、その他人件費の変動による補正のほか、峰地区竹の庄隣の大噴湯公園の駐車場用地等購入、梨本及び見高入谷の水路改修、高齢者医療制度19年度清算返還金、上佐ヶ野簡易水道組合補助金など。

●河津町老人保健特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出に2,639千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ127,429千円とする。清算による償還金。

●河津町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出に7,880千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ660,880千円とする。

●河津町水道事業会計補正予算(第1号)

4月の人事異動による職員人件費の変動で、営業費用として542千円を追加し、収益的支出の総額を180,426千円とする。

●河津町温泉事業会計補正予算(第1号)

峰大噴湯源泉権利4%取得による登記手数料で、営業費用として50千円追加し、収益的支出の総額を122,750千円とする。また浜配湯槽新築改修の設計業務委託及び峰2号源泉用地費で、資本的支出として14,250千円追加し、資本的支出の総額を57,254千円とする。

平成20年度 第2回臨時会

5月2日に開かれた第2回臨時会は次の議案を可決しました。

◆議案第37号 固定資産評価員の選任について
繩地105番地 土屋義久氏に同意。

◆議案第38号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
見高580番地の1 小川佳一氏に同意。

◆議案第39号 専決処分の承認を求めるについて
平成19年度一般会計補正予算(第10号)歳入歳出に2,500千円を追加し、総額を3,795,031千円とする。

◆議案第40号 専決処分の承認を求めるについて
河津町手数料徴収条例の一部を改正した。

◆議案第41号 南伊豆地区1市3町合併協議会の設置について
地方自治法による合併の特例に関する法律に基づき合併協議会の設置を可決。

◆議案第42号 平成20年度河津町一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出に8,795千円を追加し、総額を4,025,795千円とする。

◆議案第43号 平成20年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出4,650千円を追加し、総額を1,215,455千円とする。

第2回定例会 町長の行政報告



①職員の人事異動について

4月1日付で35名の人事異動の発令。本年度採用職員は、平成19年度末の6名の退職者に対し、5名を新規採用、県より1名の職員を派遣。

②町営バス事業について

本年で3年目を迎える逆川と西小学校、河津駅を結ぶ路線運行をしており、平成19年度の普通料金乗車人数は442名、児童、園児の定期券利用者が2,618名、合計3,060名の利用者であった。

③南伊豆地区の合併について

下田市、河津町、南伊豆町、松崎町の1市3町での協議を進めてきたが、松崎町が、協議会設置について議会で3度の否決の後、住民投票の結果、合併協議会が立ち上がった。当町は、町長、議長、議員1名、学識経験者3名の、計6名が協議会に参加する。また協議会事務局へ、職員2名を派遣した。

④町有地の売却について

下佐ヶ野菅林署跡地、町の保有地2区画、約75坪の宅地。8月末まで受付けている。

⑤裁判員制度について

「司法制度改革」の一環として、国民参加による裁判員制度が平成21年5月から始まる。当町での候補者数は29名となっている。

⑥旅券事務について

本年9月1日より、住民の利

便性向上のため、パスポートの申請及び交付を役場窓口で行なう。

⑦「小規模授産所いづみ」について
平成5年4月に設置した施設は、小規模授産所を取り巻く状況が変わり5月末をもって「いづみ」を閉鎖し、6月2日から「ワーク・あおぞら」に通所を始めた。

⑧町内一斉清掃について

6月1日、雨天のため1週間の延期をした。多数の町民参加で、5.1tのごみ回収をした。

⑨森林セラピー推進事業について

6月8日鉢の山に「伊豆元氣わくわくの森公園」グランド・オープンを行った。地元上佐ヶ野区をはじめ、各種団体の協力をいただいた。

⑩町営施設の入館、入園状況について

平成19年度の温泉施設は、踊り子温泉会館は79,120人、前年度比384人減、サンシップ今井浜30,555人、前年度比829人増。見高入谷高原温泉は4月30日1万人達成。

花卉園については、カーネーション見本園は、5月14日まで16,132人、菖蒲園は6月8日現在で22,367人。

⑪河津バガテル公園について

8年目を迎えた公園は、4月～5月で累計27,629人であった。前年比28%の減の状況である。

⑫(仮称)観光交流館について

設計に当たり、より多くの町民の意見を取り入れて活かすべく、10人程度の委員による、検討委員会を設けて進めることとした。

⑬農業関係事業について

県単独農業農村整備事業は、見高入谷地区、石ヶ崎の荒廃水路改修工事、長さ100m、事業費600万円、梨本地区釜滝用水路の崩落土砂対策、長さ70m、事業費200万円で整備する。補助金要

望で県費補助金が300万の内示を受けた。

⑭災害復旧事業について

昨年9月の台風9号で菖蒲沢漁港の復旧工事、長さ2.3m、128万1千円で東海建設が落札、契約した。

⑮水道、温泉事業について

河津町の水道事業の統合については、水量豊富な水源に恵まれ、安定した給水と供給で健全な運営を続けているが、施設の故障や、老朽施設が問題になっていたが、改修の見通しが付いたため、簡易水道と併せて水道事業に統合し、安定化と、合理化を図る。

見高入谷地区においては、未給水地域の解消、峰地区は、給食センター施設が予定されていることから、給水区域を拡張し、未給水地域の解消、安定給水を目指す。

河津町温泉集中管理施設総合診断業務を実施した結果、浜配湯所の350トンのタンクの鉄板が腐食して、漏湯しているので、既存タンクは解体して、新たにタンクを来年度に設置する予定。また、峰2号源泉用地の特分の一部を取得する。

⑯学校給食センター整備事業について

峰地内、町道鍛治屋沢線沿いの町有地に、学校給食センターを建設、鉄骨造一部二階建て延べ床面積723.6、火を使用しない、オール電化方式で、調理能力は、1日900食。

建設工事は、東海・第一工房・大塩・河津稲葉特定建設工事共同企業体が、3億765万円で落札で仮契約、厨房設備工事は、日本調理機株式会社が、8,967万円で落札、仮契約した。完成は平成21年1月30日です。

一般質問

1市3町合併法定協にいかに望むか？

町長－民意を充分に取り入れ法定期限内合併をめざす 地域自治組織は絶対条件

質問…松崎町で法定合併協議会設置の是非を問う住民投票が実施され、賛成票が上回ったわけで合併特例法に基づき合併協の設置が決定された。先日調印が行なわれ合併議論は法定協に移るが、法定協に望むにあたり何点か伺う。

まず、新法期限である2010年3月までの期間を考えると協議時間に限りがある。法に従った協定項目の協議と確認だけで、新市の町づくりについて協議される時間は充分か。

町長…来年6月定例議会までは大変厳しい日程であるが、各市町の意向を取り込みながら全力をあげて取り組みたい。

質問…新市の行財政運営計画と総合計画について、地域自治組

織と基準財政需要額による財政配分を当町として主張されているのか。

町長…1市3町の首長さんには自治組織については了解をしており絶対条件である。基準財政需要額については下田市の借金が相当減量した結果、ゆずりあうところはゆずりあっていく。質問…国、県の支援策は何を求める町民の理解を得ていくのか

町長…支援については、県知事の意向が相当強く出されると期待している。

質問…新市名と新庁舎の考えは町長…新市名は法定協の中で落ちついた市名でいいと思う。新庁舎の位置についても法定協の中で検討していただきたい。

意向を充分取り込みながら方向づけていく。

質問…観光の核となる施設の計画にあたるわけですので、収支的な面等の管理運営計画をしっかりと指定管理団体と協議し定めていただきたい。



相馬宏行議員

給食センター跡地の活用は

町長－文化施設等の考えは一切ない

質問…公共用地の利用について南中跡地と湯ヶ野地区について公共施設整備計画推進委員会でいかに検討されているか。

町長…湯ヶ野地区は西小学校と国民宿舎を含め全体計画をたてるのは難しい問題である。南中跡地は多くの企業がお願意にきているが町民の意向をよく聞き検討していく。

質問…給食センター跡地の活用として学童クラブを含めた町民が利用できる文化施設の考えはないか。

町長…小学校の統合の拠点ということで更地にして今後の統合に備える。



第1回 南伊豆地区1市3町合併協議会(6月25日) 河津町役場にて

類別路線の廃止は

町長－財源が掛かりすぎるので出来ない

質問…町長の今後の町政の取り組みについて伺いたい。

①福祉（少子高齢化、扶助、総合福祉）

②産業（農林水産、観光、商業）

③建設（生活環境整備、排水路、道路）

町長…人口8,300人で高齢化率31.8%で年々人口が減少しており、経済の活力がなくなった。

観光客も半減し、福祉医療費の増や高齢化で国保財政も厳しいが、財政の許す限り力を注ぎたい。農林水産環境も人口構成が変わり、大変厳しい。観光は韓国、中国、台湾、東南アジアからの取り込みを図り、富士山空港に期待したい。商業も個人商店は大型スーパーが入り厳しい状況だ。観光が元気にならないと建築の仕事も増えないので、如何にアジアから呼び込むか、町の自然環境を活かした花、温泉の町づくりに取組むかである。

建設業は伊豆縦貫道整備が進められており、他町との連絡道も地域の協力を得ながら要望している。町道には類別路線が認定

され地元負担、町費負担の割合が決められており、財源上見直しは出来ないが、原材料支給で対応している。生活環境整備は、県の補助を得て取組んでおり、町が何もかもやるということは出来ない。

質問…少子高齢化対策は当事者の意見を聞き、その対策を進めるべきで、産業振興はどこも厳しく、観光客が来ればそれで解消されるものではない。国、県道の整備で通勤圏の拡大が必要だ。道路類別路線は廃止すべきで、過疎的集落は整備費負担道が多く、公平な道路行政ではないのではないか。生活排水は悪臭の排水路が多く町の指導が重



土屋条太郎 氏議員

要だ。人口増加は生活の利便性で決る、当町ならではの特徴のある行政の推進と思うが。

町長…国道は早期実現にむけて陳情しており、実現すれば沼津、三島方面が通勤圏に入る。排水路は都市計画事業で実施しており、各地区の要望を取り入れて殆ど実施している。

質問…排水路がその機能をしていない所があり整備が必要だ。町長…担当課と協議してやるべきところはやっていく。

れであり、教育委員会と連絡を取り合いながら決定している。

預かり保育は一時預かりで290人位、1日当たり1,471人で少ないが、個人経営との競合もあり、陳情も受けしており、延長は考えていない。園舎前の道路規制は警察と相談しているが難しい。図書館の時間延長は当初19時までとしたが、職員の防犯上も考えての処置で、他町の動きを調査して17時までとした。夏休みは休館なしで幼稚園教諭で対応する。古文書は未整備のものもあるので、不要のものくらいなら預けられる。古文書の預かる目的の預かりは難しいのでは。

図書館の閉館時刻の延長は出来ないか。
社会教育指導は。学習講座の内容は。歴史など古文書の保存指導は。

種々の問題は、学校より報告を受けており、問題状況を見極めながらやっている。責任を、被せるのではなく、次の手段、危機管理など、マニュアルを作成してある。

教育行政について

教育長－危機管理など、マニュアルを作成済み

質問…小中学校での地域社会、父兄との、触れ合い教育をどのように目指しているか。例えば、休校、学校閉鎖など。

幼稚園での預かり保育時間の延長と園舎前の道路規制は。

図書館の閉館時刻の延長は出来ないか。

社会教育指導は。学習講座の内容は。歴史など古文書の保存指導は。

種々の問題は、学校より報告を受けており、問題状況を見極めながらやっている。責任を、被せるのではなく、次の手段、危機管理など、マニュアルを作成してある。



さくら幼稚園・朝の登園風景

議会視察研修レポート

5月22日～23日と2日間、茨城県常陸太田市の風力発電所の視察研修と、東海村の東海テラパークを見学したので報告します。

常陸太田市里美牧場風力発電所

河津町でも三筋山を中心とした風力発電の計画があるので視察研修を行いました。この里美牧場風力発電所は、河津町に計画されているものと同種の発電施設ということで遠方でしたが研修地としました。

ここは茨城県の北部で福島県に近い山間地で、財産区有地を牧場として利用し、又観光的にも活用している一帯です。

河津を朝6時に出発し、常磐自動車道を経由して現地に着いたのは午後2時過ぎでした。

当地発電所職員と、河津町での事業を担当している東京電力、ユーラスエナジーの職員も現地に来ていて説明を受けました。

この風力発電はヨーロッパ型で、スペインで培われた技術を基としているそうです。既設

の風車1機を含めて7機の風車が建設されました。定格出力1,670kW、ローター径74m、ハブの高さ70mのものでは最長の高さは107mになります。

発電所の運転開始は、2006年の12月であり、又、200mの距離にある宿泊施設を含め周囲の住居などから騒音や、低周波の苦情はないそうです。独自の分割構

造、組立て工法で建設用仮設面積も少なく、又山岳地や風の乱れに強い独自の「荷重分離構造」で、ローターの荷重をシャフトで支える一般的風車と異なりタワーで支える仕組で故障を防ぐ特殊構造等の説明を受けました。

河津町での建設についての質問も多く出され、現地の風車の下で大変勉強になりました。



里美牧場風力発電所

東海村「東海テラパーク」の見学

23日午前中、東海村にある日本原子力発電株式会社の東海テラパークを見学しました。

ここは東海発電所、東海第二発電所の施設内容や、発電所のあゆみ等のテーマ館的な施設で原子力発電についての資料が多

くあります。昭和41年に営業運転した東海原子力発電所は平成10年3月運転を中止し廃止措置しています。昭和53年営業運転した東海第二発電所が現在運転し電気出力110万キロワットを東京電力、東北電力に供給。



東海テラパーク(東海村)

～私モー言～

河津川の保全について

河津川は、水量にも恵まれ川魚も豊富で、特に鮎の天然遡上にも恵まれ多勢の釣り人で賑わっています。開発が進み、環境が悪化した影響で、一時的な増水や、著しい減少で、水質汚濁も進んでいます。

そんな中、最近は遊漁者の減少により組合の存続にも影響を及ぼす状況で、ひいては観光業者や商店等にも影響があると考えます。当組合も、産卵場の整備や放流の時期、放流魚種の調整等遡上に有効な手段を試み、又、中学生による駆除や河川清掃等の奉仕により、一時より

イシマキ貝も減少しつつあります。今年度からあゆ友釣り教室も再開し、新たな遊漁者を一人でも多く増やしたいと思っております。

町の補助金制度による合併浄化槽の設置により、水質の汚濁防止に取り組んで頂いておりますが、家庭での油類の処分等に十分気をつけていただき、自然とふれあいの出来る豊かな河津川を貴重な財産として町、地域の活性化の為に役立てる様、多くの皆様方のご協力を頂いたいと思います。 河津川非出資漁業協同組合 組合長 加藤四郎



中村 憲議長

**町議会議長の
主な活動報告**

- 3月18日 河津中学校卒業式に議員と共に出席
- 3月19日 小学校卒業式に議員と共に出席、同日、公共施設整備検討委員会に第1、第2常任委員長と共に出席
- 3月25日 河津町交通安全対策委員会に出席
- 3月26日 わかば保育園卒園式に出席
- 3月27日 議会全員協議会
- 4月4日 わかば保育園入園式に出席、同日、議会広報委員会
- 4月6日 河津町消防団入団式が河津中学校で行われ出席
- 4月7日 交通安全街頭指導が伊豆急駅前で行われ出席、同日、各小学校で入学式が行われ議員と共に出席、同日、河津中学校で入学式が行われ議員と共に出席
- 4月9日 河津町消防団幹部団員歓送迎会が行われ出席
- 4月11日 伊豆縦貫自動車道路天城北道路開通祝賀

- | | |
|--|---|
| 会が伊豆市で行われ出席 | 5月24日 伊豆つくし会ケアホームたんぽぽ及び、ワークあおぞらの竣工式が開催され、副議長が出席 |
| 4月17日 平成20年度下田警察署管内防犯協会総会が下田市で行われ出席 | 5月27日 河津町観光協会総会が商工会議室で開催され出席、同日、4月分例月出納検査結果報告を受ける |
| 4月23日 3月分例月出納検査結果報告を受ける | 5月28日 公共施設整備検討委員会が役場会議室で開催され、第一常任委員長と出席 |
| 4月24日 伊豆地域支援局長が来訪され対応 | 5月30日 伊豆東海岸鉄道整備促進協議会が伊東市で開催され出席、同日、郡議長会が下田市で開催され出席、同日、河津温泉旅館組合通常総会が開催され副議長が出席 |
| 5月2日 河津町議会第2回臨時会 | 6月2日 静岡県地方議会連絡協議会総会・政策研修会が静岡市で開催され、副議長と共に出席 |
| 5月17日 第69回黒船祭記念式典が下田市で行われ出席、同日、河津町自衛隊協力会総会が保健福祉センターで開催され、第一常任委員長、副委員長と共に出席 | 6月3日 議会全員協議会 |
| 5月19日 県町村議会議長会研修会が静岡市で開催され出席 | 6月5日 国道414号期成同盟総会が沼津市で開催され出席、同日、議会運営委員会 |
| 5月20日～21日 全国町村議会議長会、議長・副議長研修会が東京都で開催され、副議長と共に出席 | 6月8日 伊豆元気わくわくの森公園グランドオープン式典が鉢の山で開催され議員と共に出席 |
| 5月21日 河津町商工会通常総会が東急リゾートで開催され、第二常任委員長が出席 | |
| 5月22日～23日 議会議員研修会を行い、茨城県常陸太田市の風力発電と東海村の原子力発電を視察 | |

編集後記

これからの河津町にとって、最重要課題である。南伊豆地区1市3町による市町合併協議会が発足し、合併新法期限平成22年3月31日をめざしてスタートした。

町民の皆様と議会とで英知を出し合い最良の方向を見定めなければなりません。

合併問題は、10年、20年先の将来の河津ひいては、伊豆地域全体を考えてどのようにすれば良いのか真剣に取組む課題である。（稻葉）